



赤間センター長(中央)ら担当職員

融資金融センター新設

当組合は4月1日、石巻市開成の本所1階に「融資金融センター」を開設しました。石巻総合支所金融センターと塩釜総合支所金融センターの信用共済部融資課部門を集約。マイナス金利政策などに伴い信用事業が厳しさを増すなか、貸出業務の効率化などで組織体制の強化を目指します。

担当部署を本所に集約

同日付で赤間雅文センター長はじめ6人が着任。うち1人が当面、貸出担当者として石巻金融センターに常駐します。

石巻、塩釜の各金融センターとも、貯金窓口はそのままだけに、新しいコロナウイルスなどの影響に苦しむ組合員への支援に力を入れたいと話しています。

石巻と塩釜の業務効率化

鹿又哲夫常務理事(信用共済部統括部長)は「漁業を取り巻く環境は厳しさを増している。魚種別部会や支所運営委員会などへ積極的に足を運び、組合員の課題、金融ニーズの把握に努めています」と話しています。

コロナ禍の今年は「我慢」

平塚専務理事に聞く

国、自治体と連携強化へ



当組合の今年度経済事業運営をめぐり、方針や考え方、課題などを担当の平塚正信専務理事に聞いた。

——昨年7月に執行体制を理事会制度に移行した。効果は表れているか。

平塚専務理事 コロナ禍で全国どこも漁協も苦境が続いている。組合の新しい姿を示したいが、コロナ対応で手いっぱい。状況だ。収束の兆しが見えないなか、今年も我慢を強いられる一年になる。コロナ後のあるべき姿はしっかり描いていきたい。

——東日本大震災から10年がたった。復興は着実に進んでいる。

——コロナの影響で需要の落ち込みが懸念される。

平塚専務理事 コロナ禍でも販売部門が組合経営の柱だ。国内需要の喚起に努めながら、国外にも目を向けていく必要がある。既に輸出されている力キ以外に、ノリ、ワカメ、ホタテ、ギンザケなど世界に打って出られる品目はたくさんある。

——競合中と差別化を図る方法はあるのか。

平塚専務理事 カキは石巻3支所と志津川支所戸倉出張所がASCを取得済み。ギンザケにはGIという武器がある。安全や安心、品質などが担保された認証制

度は今後重要度を増していく。国内においても、大手量販店がその流れになっている。魚価の安定化と向上につながる認証漁業を増やしていきたい。

——漁協単独では対応が難しい課題も多い。

平塚専務理事 国や県、市町村と連携を深めていくことが大事だ。補助事業はフルに活用していく。地元企業との協力関係強化も不可欠だ。不振を極める漁船漁業も、何としても継続していかねければならない。今を乗り越えないと未来はない。実効性のある対策を早急に講じたい。より良い種苗の確保も重要な課題になってくる。

——ホヤは東京電力福島第一原発事故に伴う韓国の禁輸措置が続く。

平塚専務理事 令和5年は区画漁業権の1斉更新年に当たる。たとえ禁輸措置が解かれたとしても、今は韓国でも

生産が増えている。生産者は方向性を見極める必要があるが、ホヤは宮城を代表する海産物の一つ。先細りさせたくない思いが強い。加工品の輸出など手はあるはずだ。

——原発の敷地内にたまる処理水の海洋放出が決まった。

平塚専務理事 海洋放出されれば、復興へ懸命に取り組んできたこの10年が全くの無駄になる。核のごみがもたらす風評被害は計り知れない。「断固反対」の立場を徹底的に貫いていく。

——10月に全国豊かな海づくり大会が石巻を主会場に開かれる。

平塚専務理事 水産業が復興した姿や、災害に備えたまちづくりが進んでいる様子を全国に発信できるまたとない機会だ。支援への感謝の気持ちも伝えたい。運営に全面的に協力していく。

仲間392人の冥福祈る 震災10年、再興の誓い胸に

支所運営委員長らが白菊を献花し、地震発生時刻の午後2時46分に合わせ全員で黙とうをささげた。

寺沢代表理事組合長は「漁業をより発展させ、未来につないでいくことが、志半ばで亡くなった仲間の一番の供養になる」と誓いを新たにしていた。

本所で追悼式

東日本大震災から10年を迎えた3月11日、当組合は石巻市開成の本所敷地内の慰霊碑前で追悼式を行い、犠牲者の冥福を祈った。

ギンザケ 成育順調、果ごもり需要に期待 今季1万4600トン計画

「漁業をより発展させ、未来につないでいくことが、志半ばで亡くなった仲間の一番の供養になる」と誓いを新たにしていた。



県産ギンザケが3月10日、今季初めて水揚げされた。女川魚市場に入荷した。銀白色に輝く魚体は脂乗りも上々で場内が活気づいた。今季の生産見込みは1万4600トン。

（昨季実績1万4908トン）。このうちの2割（3千〜4千トン）が活じめ処理を施した国の地理的表示（GI）保護制度登録の「みやぎサーモン」となる計画。

この日は約5トンが上場され、落札価格はキロ平均879円。昨季並みの5千トンの取り扱いを見込む同魚市場の加藤實社長は「近年はほとんどの魚水揚げが始まったギンザケ。身はきれいな色で程よい脂乗り」

種が大不漁で、ギンザケにかかる期待は大きい。刺身で食べるおいしさが一番よく分かる。安定した水揚げと価格が続いてほしい」と話した。

成育はおおむね順調に推移している。4月9日には、当組合のブランド「伊達のぎん」の水揚げも始まった。今季は3500トンの生産を見込む。

価格面は新型コロナウイルスと冷凍チリ産ギンザケの相場に左右される状況が続くと予想されるが、量販店向けの生鮮は果ごもり需要を背景に在庫消化が進み、好調を維持する見通し。水揚げは7月下旬ごろまで続く。

肉厚で歯応え十分 5月8日まで入札



県産「三陸わかめ」の今季初入れ札が2月24日、気仙沼市波路上瀬向の当組合わかめ流通センター

であった。昨秋の高水温や冬の寒波による栄養塩不足などで生育が遅れ、初入れも例年より10日ほど遅れ込んだが、品質も価格も徐々に回復。原簿ベースで約1万2千トン（前年実績1万1900トン）の生産を目指す。



入札前に品質を確認する買受人

今季入れは新型コロナウイルス感染症による消費の冷え込みなどに伴い、弱含みの展開で始まったが、塩蔵ポイル201トンが上場された4月7日の第7回入札会では平均単価(中芯除く)が10キロ1万175円と前回比4割高となり、生産者を喜ばせた。入札は5月8日まで計11回実施される。

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

24



政府の下に内閣府の「規制改革推進会議」が設置されています。この会議は、経済社会の発展を邪魔している法制度の改革を推進するために設置されています。その背後には、業界と利害のある各官庁では抜本的な法制度の改革を履行でき

規制会議の公平性に疑問

かかる調査・審議をしようというものです。この必要性はあると思います。が、この会議のやり方には「公平さ」が欠落しているという疑いがあります。ひとつは、当該分野

か、自家販売なのに口銭をとられているとかという「不満」の声です。これを不正と見なすかどうかは判断されていません。ともあれ、これを読むと、国税を使っているのか、度々議論をしているのかという大変残念な思いを持ちました。組合員の漁協に対する不満はある意味慢性的なものとしてあります。そして、そのことをどう取り除いていくかという課題が漁協にあることはたしかです。しかし、表面的な問題を攻めても何も解決されず、ましてや規制改革推進会議のように『協同組合の原理』や『漁協論』に精通しない方々の間でいく通しな議論でも「ガス抜き」にもなりません。

協同組合の組合員には、出資者として事業を利用する「権利」があり、同時に組合員としての「責任」が付いてきます。「責任」の履行は協同組合「自治」への参加を前提としています。そのうえで、漁協は漁業権管理団体であると同時に経済団体であり、しかも総合事業体です。それに海は農地と違って私有地ではなく、公有水面です。経済活動には一定の秩序が必要で、海を上手に使うためには、人を雇わなければならず、管理コストがかかります。それゆえ事業利用の在り方を組合員の「権利」と「責任」との関係から絞り出すなければならないので、推進会議の改革こそが重要なことだと思います。



先輩を見習って
寺澤あかり（てらさわ・あかり＝22、七ヶ浜町）塩釜総合支所総務指導課

組合員の方々の力になれる職員になりたいです。幼いころ、海の近くで育ったため、近所には漁業に関わる仕事をしている人がたくさんいました。お世話になった分、立派な職員になり、恩返しをしたいです。先輩職員を見習っていきます。



小さな声大事に
安部佑哉（あんべ・ゆうや＝19、石巻市）気仙沼地区支所

組合員の方々と交流の持てる職員になりたいです。小さな声にもしっかり耳を傾けていきます。周りから必要とされるよう、また理想の職員像に近づけるよう努力します。若者世代の「漁業離れ」といった問題も解決していきたいです。



能動的に素早く
庵原晃太（いはら・こうた＝22、石巻市）本所経済事業部販売課

大事にしていきたいことは、能動的に素早く行動することです。組合でアルバイトをした経験から、分からないことがあればすぐ聞くことで、仕事に正確性が高まることも実感しました。日々の努力をこつこつと継続することも心掛けます。



臨機応変に対応
佐藤周太（さとう・しゅうた＝35、七ヶ浜町）塩釜総合支所販売課

臨時職員として働くなかで、笑顔あふれる浜をつくってきたいという思いが強くなりました。組合員の方々が丹精込めて育てたり、命がけで獲った水産物を多くの人に食べてもらえるよう、臨機応変な対応や判断ができる職員になりたいです。

ニューフェイス

「みんな職員になりたい！」
当組合は4月1日、4人のニューフェイスを迎えました。希望や決意を胸に配属先で一生懸命仕事を覚えています。皆さん、よろしくお願ひします。（名前、読み、年齢、出身地、配属先）

県漁業士会南部支部

農水大臣賞に輝く

全国青年・女性交流大会

のり無償提供

3月2日に開かれた第26回全国青年・女性漁業者交流大会（JF全漁連主催、東京）で、当組合員らで組織する県漁業士会南部支部が最高賞の農



受賞を喜ぶ県漁業士会南部支部の齋藤前支部長（右）と七ヶ浜女性部の佐藤部長

全国25団体から分科会（部門）に出場。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインで活動成果を報告した。県内2団体は当組合本所で練習を重ねて本番に臨んだ。県漁業士会南部支部は前支部長の齋藤裕さん（指導漁業士、当組合鳴瀬支所）が「Stop!『魚離れ』〜子ども食堂

で美味しく・楽しく魚食普及を」と題して発表した。同支部は、子どもが一人きりで食事をする「孤食」問題に関心をもち、魚食普及活動の一環として平成30年6月から子ども食堂への食材提供を開始。支部員が焼きのりやサケなどを各自持ち寄り、全て無償で提供している。

一緒にのり巻きを作ったり、養殖で実際に使われているのり網に触れたりとできるワークショップも開催。長引くコロナ禍のなか、一部の子ども食堂は「フードパントリー」と呼ばれる食料配布などに形を変えて活動しており、同支部も協力。のりや魚に関するクイズや手書きのメッセージを添えるなど、子どもたちとの交流も続いている。齋藤前支部長は「売り場と並ぶ数ある水産物の中から県産を選んでくれるようになってほしい。県全体に取り組みの輪が広がれば」と期待する。

七ヶ浜支所女性部は佐藤順子部長が「女性の力で浜を元気に〜魚食普及活動を通して、地元水産物のおいしさを伝えたい」と題して発表した。同女性部は、令和元年度から支所内7分会が一つの組織として活動。親子を対象とした魚のさばき方教室を開いたり、支所青年研究会が養殖試験を進める海藻ダルス（ナビNEXT）（運営・株式会社リクルートキャリア）主催の第7回GOOD ACTIONアワード

のり協業化で表彰

七ヶ浜支所

GOOD ACTIONアワード

で、のり養殖の協業化を推進する当組合七ヶ浜支所が「Cheer up賞」を受賞した。労働環境の改善が難しい業界の希望となるような取り組みに贈られる同賞。東日本大震災後、協業化により早期の事業再建を果たしただけでなく、収益拡大や後継者育成などにつなげていることが評価された。



表彰式は3月3日に都内の同社本社で開かれ、同支所はオンラインで出席。鈴木祥課長は「多くの支援があつて震災から立ち直ることができた。賞に恥じぬよう、これからものりを作ってきたい」と意気込みを新たにした。

賞状とトロフィーを手を受賞を喜ぶ鈴木課長

組合からのお知らせ

信用共済部

店舗や現金自動預払機（ＡＴＭ）に出向かなくても取引できる「ＪＦマリンネットバンク」をご存じですか？ 口座残高の照会や振込・振替の手続きが、パソコンやスマートフォンなどのインターネット端末からできるネットバンキングサービスです。新型コロナウイルスの影響で非対面サービスの需要が高まり、利用者が増えています。

利用はとても簡単です。店舗に用意している「ＪＦマリンネットバンク利用申込書」に必要事項を記入し、押印するだけです。後日、利用開始のお知らせをお届けします。あとは同バンクのサイトにアクセスし、ログインＩＤとパスワードを入力するだけ。操作は至っ

ネットバンク利用しませんか 24時間スマホで簡単手続き

て簡単で、セキュリティ対策も万全です。原則24時間利用できます。パソコンやスマホ、タブレット端末さえあれば、自宅や外出先でも残高照会や振込・振替、入出金明細の照会やダウンロードなどが可能。振込手数料は店舗窓口より低く抑えられます。ネットショッピングの決済や、子どもへの仕送りなどに便利です。コロナ禍で人が集まる場所を避ける動きが広がるなか、全国的にもネットバンクの利用は増えているようです。

ＪＦマリンバンクはネットバンキングの利便性向上を図っていきます。詳しくは同封チラシを確認の上、最寄りの金融センター窓口までお気軽にお問い合わせください。



浜の嫁さん

左から夫の冬生さん、朋美さん、義母のとも子さん、義父の善浩さん



歌津支所中山漁港 三浦朋美さん

好奇心がいっぱい 何もかもが面白い

いが始まった。現在6歳と4歳の子どもがいて、4年ほど前から歌津の夫の実家で、義父母、義祖母も含め8人で賑やかに暮らしている。

冬生さんは高校卒業後すぐに家業を手伝った。ワカメを主に、ホタテと

になつて教えたんでしょうね」と冬生さん。

ワカメの陸作業はもちろん、ホタテの耳づりなどのときには一緒に沖に行くこともある。「若い嫁さんのなかで沖まで来る人はまずいない。逆に俺はそれが面白いと思っ

にたじたとなくなってしまうこともあるという。

子どもたちは上の女の子も下の男の子も海が好き。特にタコかこの時期には、保育園が休みなら絶対連れて行ってほしいとせがむという。ワカメの時期は保育園に行く前にめかぶそぎを手伝うこともあるとか。「このまま海が好きで育つてくれたら」と朋美さんも冬生さんも目を細める。

ホヤの養殖だ。「漁師だとは聞いていたけれど、どんな仕事をしているかわからなくてここに来たんです」。仕事は夫をはじめ夫の両親が教えてくれた。「まっすぐな性格で妥協をしない。やる気があるから両親も本気でついて自然とおつきあ

て連れて行く」と冬生さん。酔い止めの薬を飲んで、それでもダウンしてしまうときもあるけれど、朋美さんは日焼けも気にせず船に乗りたがる。おっとりして見えるが、かなり好奇心旺盛。どの仕事も、ワカメの最盛期に寝る時間を削ってする作業でも、「ただただ面白い」と言う。つらいことは？ と聞くと考え込んでしまうのだ。

子どもが学校に上がって朝のしたくを自分でできるようなれば「ワカメ刈りもしてみたい。どんなんだろ」と今から楽しみにしている。「家事もやりながら、あれもこれもやってみたいと言ってくれるから、俺は助か

塩釜市浦戸東部支所 青野友樹さん(35)

島ぐるみで育てた あらたな漁師の芽

ところ、寒風沢島の刺網漁師八木輝明さんと出会い声をかけられた。

仙台出身。海が好きだったし、自然が豊かなところに戻りたいという思いもあった。そして寒風沢では初めての地域おこし協力隊として来ること

かご漁を営んでいく。

引退した八木さんから船と漁具を譲ってもらった。別の人に船外機船も譲ってもらい、青喜丸と名付けた。これも青野さんへの信頼や期待の表れだ。

最初は反対した妻もつ

いう発想はこれまでの組合にない。青野さんが揺るがず寒風沢で漁師になったのは「島のたギバサとか、名前も知らなかったダルスとか、何で水揚げが上がるかわからない。やりたければどんどんやってもらいたい」と期待する。

東京でサラリーマンをしていた青野さん。通勤電車の中で「漁師になりませんか？」と呼びかける漁業就業フェアの広告が目にとまった。面白そうだなとフェアに顔を出したり県漁師カレッジに短期で参加したりした

に。市職員という立場で八木さん含め4隻の刺網船に順に乗せてもらい、3年間修業を積んだ。

昨年9月に准組合員となり、この2月協力隊を結成して独立を果たした。刺網をメインに、時期ごとに魚種に合わせて網や

島にきた3年前、漁師は50代が1人、あとは皆60代以上だった。それが今は、息子が戻ったり青野さんに続く地域おこし協力隊員も来て、若手が5人になった。「もっと増やして盛り上げたい」と青野さん。「こういう形で若い人が入り浜が活気づけばありがたい」と内海支所長も言う。



良質ワカメを育み浜の恵みを守る

歯応えよく高評価

ワカメの品質では高評価を得ている。入り組んだ海岸線の複雑な潮の流れにほどこく揉まれ、軟らかくもなく硬くもない、ちょうどいい歯応えで引き合いも強い。組合員の適性管理の力も大きい。



大谷本吉支所 組合員数 830 人(正 128 人、准 702 人)。職員は 5 人。販売取扱高は令和元年度で約 2 億 1300 万円。うち 1 億 7500 万円がワカメ。ほかにアワビ、漁船漁業など。

いが、その組合員も高齢化が進んでいるため、早稲遅稲をうまく調整しながら長い期間を使ってあまり体に響かない水揚げを工夫している。ただ今シーズンには価格が上がり、また年明け以降ナギが続いたためか、出荷品質に値しないものも出て数量も上がらなかった。彼岸過ぎに出した遅稲は

価格が持ち直したものの、変色が見られ今漁期は非常に厳しい状況にある。

厳しい海況を越えて

アワビは、震災前は1億円前後の水揚げがあったが、令和元年度で2千万円台。数量も震災前の6分の1に落ち込んでいた。震災で稚貝の放流が

高橋和志運営委員長



阿部清支所長



大谷本吉

支所を訪ねて

女川町



女川町支所 組合員数 308 人(正 238 人、准 70 人)。職員は嘱託含め 9 人。販売取扱高は令和 3 年 2 月末で 48 億 9900 万円。うち養殖ギンザケ 33 億 5700 万円。ホタテ 6 億 1700 万円。ほかにホヤ、カキ、鮮魚、ウニ、アワビなど。

阿部敏雄運営委員長



富澤均支所長



水揚げの主軸ギンザケ

ギンザケは同支所の水揚げ額の7割近くを占める重要な魚種。昨年運営委員長になった阿部敏雄さんも、当組合認定ブランド「伊達のぎん」のグループの一員だ。昨年度は増産となったものの、チリ産ギンザケの輸入増大とコロナの影響も重なり、単価が下落。金額は前年比17%減となつてしまった。しかし今まで発動したことのなかった漁業共済の積立プラスを初めて発動し、漁家経営を安定させることができた。今シーズンは成長は順調なもの、全体の7〜8割を出荷する6〜7月にはどのような相対価格がつくかは、コロナの状況な

県を代表する魚種で随一の水揚げ高

女川町19の浜を管轄。中部地区の中核的な事業所で、同支所だけで宮城県漁協全体の水揚げの30%

を占める。複合養殖を主体とし、ギンザケ、ホタテ、ホヤは県下一の生産を誇っている。



魚体と身色が美しい「伊達のぎん」

新しい種を入れることも出来ない。富澤均支所長は、ホヤの内臓等の部位別検査を行うことにより、「ホタテの貝柱のように毒化しない部分の加工出荷ができる」と安全・安心な

ど不確定要素が多い。苦難に満ちた1年。どこも同じだが、この1年はコロナによる需要の減少や価格低迷にさらされ厳しいものとなった。さらにホタテ、ホヤ、カキなどのまひ性貝

毒による長期の自主規制の影響も重なった。ホタテは平成29年度から続いたへい死からようやく脱し今後期待していたところだった。ホヤに至っては、最盛期に出荷自主規制という大きな痛手に。出荷できないと

のを消費者に届けたい思いは生産者も同じだ。誰も損しない価格を。高い水揚げ額を誇る同支所も、震災の被害は大きく、後継者のいない高齢の着業者の多くが、再起するための設備投資をあきらめ廃業せざるを得なかった。「生産者も加工業者も共に多額の設備投資をし、たいへんな思いをした。どちらも損をしない価格形成を」と阿部運営委員長も富澤支所長も切に願う。

健全な支所経営へ

ここまでは来られたのは、国、県、町そして関係機関の支援のおかげと強調する。特に女川町は

「今後も健全経営を維持していくためには、行政や関係団体の協力と支援をいただきながら、組合員の漁業生産性・所得の向上を目的に漁家経営の安定を図っていく」と富澤支所長。持続的な漁業を行いつつ、組合員の協力のもと、共販率の向上と維持に努め、安定した支所経営を目指していく。

思うようにできなかったこと、磯焼けが進み隠れ場所がなくなったことも影響していると考えられる。現在稚貝放流は震災前の水準まで回復。漁獲されたアワビが天然貝か放流貝かを調査中だ。同支所は小泉川の秋サケふ化放流の事務局も担っている。震災後すぐに被災した施設を手作業で復旧し、1年も休むことなく事業を再開した。しかしこちらも近年、回帰・上が思わしくない。漁船漁業も多分にもれず低調で、この1年は、核となる漁業がことごとく厳しかったというが、それは三陸全体、いや全国共通の問題でもある。「長いスパンでみれば、低空飛行を余儀なくされても墜落しなければいい。焦らず、獲れなくなつたものの代わりを探し、また今ある資源の付加価値をどう上げるかを考えるべき」と高橋和志運営委員長は言う。

元気が出るニュースも

昨年度、養殖に新規参入者が2人出た。「漁業



かぼちゃんじゅうを作るおばちゃん倶楽部

法も改正され、漁場を有効利用したい人には手助けをしたい」と阿部清支所長。また、ワカメ・ホタテ・ホヤ養殖で震災後3人で協業化を図っているグループは、漁師カレッジの卒業生を受け入れて後継者の育成に取り組んでいる。こうしたことをきっかけに後継者が出てくることを阿部支所長は期待する。また変わらず元気に活動しているのが「おばちゃん倶楽部」。震災前から作っているワカメの中心を利用した「浜福神漬

支所と漁民の強い絆

チームワークには自信があるという同支所。もともと漁協と地域の結びつきも強い土地柄だ。「漁協あつての漁民、漁民あつての漁協」という意識が大切」と高橋運営委員長。阿部支所長も「組合員の皆さんには震災後も変わらず組合各事業に協力いただいていた。多くの組合員が期待するアワビ、ウニ等の磯根資源を震災前に戻し、浜の恵みを皆が享受できるように努力したい」と話す。

需要喚起へ販促強化

コロナ禍、農中から支援



助成事業により作成したリーフレット

新型コロナウイルスの影響で外出需要が落ち込むなか、打撃を受けた組合員を支援する取り組みの一環として、当組合は農林中央金庫の助成事業と連携し、生カキの販売促進用リーフレットを2万部作成しました。

三つ折りのリーフレットは手にしやすいサイズで、生だけでなく、焼いたり蒸したりしてもおいしく味わえることや、安全・安心にこだわって生産していることなどが記さ

れています。2月13日には仙台市内のみやぎ生協2店舗で加熱用200gを先着100人に無料で配り、魅力をPRしました。

カキ以外にも、コロナ禍で消費が冷え込み、価格が大幅に下落している水産物はたくさんあります。依然として感染収束への道筋はなかなか見えません。苦境に立つ組合員の漁業経営安定化に向け、当組合は販促策を強化していきます。



ポスターも使ってPRする量販店売り場